

平成29年
10月22日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報(岡山県第3区)

岡山県選舉
管理委員会

(この選挙公報は候補者から提出された原稿を写真印刷したものであります。)

市民と野党の
共闘の力で

安倍政治に退場の審判を

比例
代表は
日本共産党
力をあわせて新しい政治をつくろう
ブレずに市民と野党の共闘を貫く党
ください
とお書き
ください

戦争する国づくりへの安倍改憲ストップ
憲法9条守り、平和な日本に
当事者も意図しない軍事的衝突をどう回避するか、「軍事一
本やうは最も危険です。「対話反対」の安倍政権では、危険が工
スカレートするばかりです。

安倍首相の改憲の狙いは、海外での無制限の武力行使に道を開くこ
とです。安保法制は廃止します。

4 地域経済 中小企業・農業応援、地方の再生

1%の富裕層でなく、99%の国民のために
くらし応援へ 4つのチェンジ

1 財源 増税するなら、富裕層、大企業から
所得税は、所得が1億円を超えると負担率は下がり、法人税
も、実質負担率が中小企業は19%前後なのに、大企業は12%と
不平等。「能力に応じた応分の負担」の税制改革を。
2 予算 社会保障、教育、子育てを最優先に
◇国保料(税)の値下げ。◇介護保険料・利用料の軽減、介護施
設の増設。◇教育の無償化。◇認可保育園の増設など、保育園
待機児の解消。◇最低保障年金制度をつくる。
3 働き方 8時間働けば、普通に暮らせる社会へ
◇長時間労働をなくし、安定した雇用の創出。◇ブラック企
業、ブラックバイトをなくす。◇雇用のルールを強化し、非正
規から正規へ。
4 地域経済 中小企業・農業応援、地方の再生

略歴
1956年久米郡美咲町生まれ。県立和気高等学校、ノートルダム清
心女子大学文学部卒。新日本婦人の会岡山県本部事務局長、岡山民報
編集長などを歴任。現在：党県委員、3区国政对策委員長。



安倍政権の「加計・森友一疑惑隠しなど国
の私物化は許せません。安保法制と共謀罪
の強行など憲法破壊、年金引き下げなどくら
し破壊・国民の民意に背く安倍政権の暴走を
これ以上、続けさせることはいきません。
今度の総選挙は、安倍政権を退陣させる絶
好のチャンスです。「市民と野党の共闘」こそ、
未来を切り開く道です。日本共産党は、
市民と野党の共闘に「ブレずに頑張っている党
です。「政治を変えたい」この思いを日本共
産党と私、尾崎ひろ子に託してください。

尾崎ひろ子

日本共産党

未来につなぐ。志をつなぐ。

確かな未来を次世代につなぐ!

- 誇りある日本の「歴史」、「伝統」、「文化」を次世代に引き継ぎます。
- 農林水産業、酪農業を成長産業として地域の活力の牽引役とします。
- 里海・里山の総合管理により、山の恵み(農林業)、海の恵み(水産業)の付加価値を高め、新しい地方創生を推進します。
- 地方で若い世代が定住できる雇用を創出し、地域で安心して子育てができる支援策を充実します。
- 超高齢社会の到来に備え、誰もが安心して老いを迎える社会の実現に取り組みます。
- 中山間地域の抱える大きな課題、医療弱者、買い物弱者、通学困難児童学生などの支援事業を拡充し、人口流出の克服に取り組みます。

子育て世代を徹底的に応援!

- 待機児童問題の解消のためにも、家庭で子供を育てたいと願う全ての家族の希望がかなう支援策の充実に取り組みます。
- 教育無償化や高等教育の負担減など、所得格差が子供の学力格差にならないための政策を推進します。
- キャリアと収入が保障される育児休暇制度の充実など、育児中の家庭を社会で支える改革を推進します。
- 子育てに不安をもつ親たちを、地域で細やかに支える拠点を充実させ、誰もが安心して子育てできる家族政策の拡充に取り組みます。

平沼正二郎選挙事務所 〒708-0806 岡山県津市大田81-11 TEL.0868-24-0107

平和で安全な日本をつくる!

- 憲法第九条へ自衛隊の存在と役割を明記し、緊急事態条項など、日本の平和と安全を守るために憲法改正を推進します。
- 北朝鮮による核開発・弾道ミサイル発射をやめさせ、拉致問題を解決するためには国際連携と圧力強化こそが必要です。今、日本は国家として国民の生命と平和と安全を如何に守るかという覚悟と行動が問われており、この問題に真正面から取り組みます。
- 想定外の自然災害、近い将来発生が懸念される南海トラフ地震などに備えた国土強靭化は、喫緊の課題です。国民の安全と生命を守るために迅速に推進します。

経済再生こそが未来を守る!

- 社会福祉や教育の充実、国民の安全を守る防衛体制の充実を実現するためには、何よりも経済的裏づけが必要です。アベノミクスによる継続性のある経済再生を更に推進し、大都市圏だけでなく地方経済の活性化を実現します。
- 情報競争に優位に立つことは、これから日本経済に絶対必要です。国家として支援に取り組み、積極的な規制緩和を推進し、世界に通じるITサービス産業を育成します。
- 雇用拡大と所得増大につながる、企業減税や中小企業の充実に積極的に取り組みます。

志を継承し、作州・東備の発展に尽くす!

父 平沼赳夫が、地元の皆様から頂戴したご恩にお応えすること、日本を守る憲法改正を実現することは、私が果たさねばならない使命です。
感謝の心で、作州・東備地域の発展のために全力で取り組み、掛け替えのない故郷と日本を、次の世代、未来へつなぐ責任を果たします。



平沼正二郎 略歴

昭和54年11月11日生。
平沼赳夫・眞佐子の二男として岡山市に生まれる。
岡山市立伊島小学校、岡山市立京山中学校、岡山県立岡山一宮高校、学習院大学経済学部卒業。
ソニーマーケティング株勤務を経て、平成18年IT関連企業設立。
現在に至る。

平沼正二郎

[37才]

投票方法

小選挙区選挙
(ピンク色の投票用紙)

比例代表選挙
(あさぎ色の投票用紙)

国民審査
(うぐいす色の投票用紙)

..... 候補者名を記入

..... 政党等の名称を記入

罷免を可とする裁判官の
氏名の上の欄に×を記入